



▲歩道の拡幅で子どもたちの安全を

子どもの命を守る対策を

答弁 = 情報の共有で支援

栢田理事



日本共産党
田中 久子

問 国と地方自治体は、保護者とともに児童を健康やかに育成する責任がある。虐待は増えているのか。子どもを守るネットワーク事業の内容は。

答 虐待相談は年々増加

問 国と地方自治体は、保護者とともに児童を健康やかに育成する責任がある。虐待は増えているのか。子どもを守るネットワーク事業の内容は。

答 虐待相談は年々増加している。児童相談員による虐待防止や、相談業務、巡回相談を行い、早期発見や支援活動を実施している。

問 子ども電話相談室の設置を。

答 「播磨町子ども悩み相談室」を教育委員会に設置し、広報で住民に案内をしている。

問 子宮頸がんワクチンの助成を。

答 他市町の動向を見極め、検討したい。

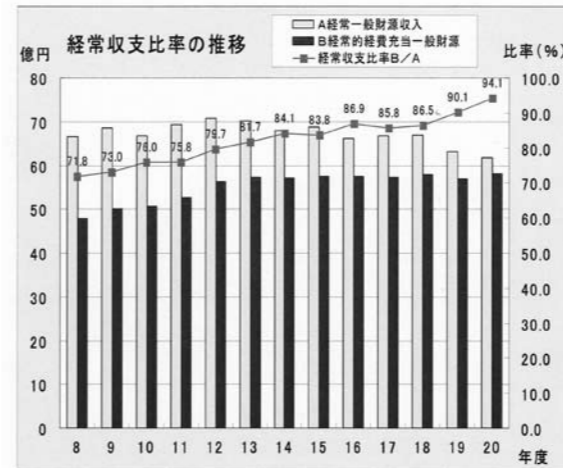
問 通学路の危険個所の安全対策を。

答 年一回現地を歩き一斉点検し、安全確保に努めている。

緊急経済対策の検証は
答 栢田理事

問 明石市は、住宅リフォーム助成の効果額を発表。事業費の11倍の効果をもたらした。播磨町も事業の検証をすべきでは。

答 事業の実施は、計画、実施、評価、改善により効率化と行政サービスの向上に取り組みたい。



▲一般に経費削減の怠慢が財政状況悪化を招く

4年間の財政改革の実績は

答弁 = 指定管理者制度の活用など

三村理事



明風会
福原 隆泰

問 財政健全化を圧迫する固定費について、削減できた経費の額は。

答 指定管理者制度の活用や町有地の処分、各年度の物件費5%削減などであるが、全体の取りま

とめは行っていない。

問 公開の場で事業の是非や効果を見極める事業仕分けの導入は。

答 外部の視点を取り入れるまでもなく、町の将来にとって必要な事業を見極めていく。

問 プレミアム商品券による町内小売店への経済効果は。

答 効果は算出していない。少なくとも発行された1億1千万円が町内で消費され、消費拡大の効果があったと考える。

問 当町のふるさと納税の実績は。また、近隣市町の実績は。

答 平成20年9月から募集を開始したが、実績はない。昨年度は加古川市で6件331万円、高砂市10件24万4千円、稲美町3件16万6千円。

問 今後は、経常経費を圧迫する事業が目白押しで財政破綻が心配。財政の健全化は大丈夫か。

答 持続性のある健全な行政を進めることは重要な使命であると認識。

ふるさとの先覚者顕彰を

答弁 = ホームページなど活用

町長



自治クラブ代表
勝樂 恒美



▲新聞の父ジョセフ・ヒコ

問 新聞の父ジョセフ・ヒコの生誕地である播磨町としては、この偉大な先覚者を全国的に発信するため、どのように考えているか。

答 郷土の誇りである

ヨセフ・ヒコの情報を全国に発信することは大切なことと感じており、町のホームページなどを活用したいと考えている。

農業政策は
答 栢田理事

問 地産地消を推進するため、直売所への出荷の促進と栽培技術の講習を実施しては。

答 農協の「ふあーみんショップ」があり、町内農家も出荷されている。栽培技術の講習は加古川農業改良普及センターやJA兵庫南と連携して実施している。

問 学校給食に町内産の農作物をできるだけ多く使って、教育現場での食育活動を推進しては。

答 できるだけ町内産農作物を使用するように努めている。米はほとんど町内産であり、野菜については、町内で収穫される時期には町内産を使用している。

その他の質問
駅前交番誘致について

住民とともに開かれた議会を目指して

議会基本条例について 講演会を開催します

議会では、昨年の4月から「開かれた議会」「身近な議会」「わかりやすい議会」など住民と議会の関係について調査・研究を行い、議会改革を進めているところです。その一環として、議会基本条例の制定に向けた講演会を開催します。

より多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：8月29日（日）午後6時30分～8時30分

場所：播磨町中央公民館大ホール

演題：「新しいまちづくりと『議会基本条例』」

講師：岡本光雄氏（全国町村議会議長会事務局次長）

*お問い合わせ 議会事務局 ☎079 (435) 2387 まで